

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	梅光学院大学
設置者名	学校法人梅光学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
文学部	人文学科	夜・通信	2	2	33	37	13	
子ども学部	子ども未来学科	夜・通信		0	42	44	13	
(備考) 「学部等共通科目」については、それぞれの学科の教養科目を計上								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.baiko.ac.jp/university/information

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	梅光学院大学
設置者名	学校法人梅光学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

http://www.baiko.ac.jp/university/information

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	株式会社役員	令和2年 4月1日～ 令和4年 3月31日	教育業界の常識にとらわれない第三者的視点での意見や判断を期待している。
非常勤	牧師	令和2年 4月1日～ 令和4年 3月31日	建学の精神（キリスト教信仰）に沿った視点での意見や判断を期待している。
(備考) 学外者5名のうち2名について記載。			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	梅光学院大学
設置者名	学校法人梅光学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>■授業計画(シラバス)の作成過程 添付資料「2020年度シラバス作成要領」を参照</p> <p>■授業計画の作成・公表時期 作成準備：前年度12月頃～ 公表：当該年度3月～</p>	
授業計画書の公表方法	https://unipa.baiko.ac.jp/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

■ 学期について

本学の授業は1年を前期、後期の二学期に分けて行ない、いずれの学期とも授業週数は15週（定期試験を除く）です。

■ 単位制と学習時間について

- ① 本学の教育課程は、単位制です。卒業するためには4年間在学し卒業に必要な単位数（124単位）を修得することが求められます。極めて厳格な制度で、たとえ1単位であっても不足すると卒業はできません。
- ② 単位は、すべての大学において、授業時間（a）と授業時間以外に行う自己学修等の時間（b）を合計して45時間（=a+b）をもって1単位と規定されています。
- ③ 本学の授業科目は、「講義」、「演習」、「実験、実習、実技」の3つに区分されています。それぞれの授業時間は以下の表のとおりです。

④ (1 単位の場合)

授業科目の区分	授業時間 (a)	自己学修等の時間 (b)
「講義」	15 時間	30 時間
「演習」	15 時間から 30 時間	30 時間から 15 時間
「実験、実習、実技」	30 時間から 45 時間	15 時間から 0 時間

- ⑤ 授業科目を履修し、担当教員が必要と認める学習を行い、定期試験またはレポート等の成績評価によって合格と担当教員が判定した場合、所定の単位数が与えられます。

■ 定期試験

- ① 定期試験は、前期と後期に分け、それぞれ学期末に試験を実施します。2020年度の定期試験の日程は、以下のとおりです。試験を実施する授業科目および時間割は、試験期間開始の2週間前にUNIPAのお知らせに掲載します。
前期試験 2020年8月3日（月）～8月5日（金）
後期試験 2021年1月25日（月）～1月29日（金）
- ② 登録した授業科目は、試験等により合格（60点以上）の成績評価を得ることによって所定の単位を取得することができます（試験を実施しない科目もあります）。
- ③ 出席時数が授業全体の3分の2に満たない科目は、単位を認定することができません。

■ 成績通知について

- ① 《前期科目》は9月、《後期科目》は3月にUNIPAの成績照会より成績公開を行います。公開日は学年暦で確認してください。各学期のGPA値は、成績公開日に算出し、公開します。
- ② 成績評価に関する問い合わせは、UNIPAのQ&Aより各学期の成績公開後の所定期間に受け付けます。個々の判断で授業担当教員に直接問い合わせることはせずに成績に関する問い合わせはこの制度を利用してください。
- ③ 《保護者への通知》は5月上旬に「成績通知書」を保証人宛に送付します。「成績通知書」は、履修済の科目の名称、必修・選択の区別、評価点、評価、修得した年度と学期、担当教員名の一覧となっています。
- ④ 評価は、評価点をもとにS：100-90、A：89-80、B：79-70、C：69-60、D：59-0、P：合格認定（pass）、F：評価不能（fail）の区分で記載されています。
- ⑤ 成績通知表は、修得した単位の総計表です。教養科目、共通専門科目、専攻専

門科目、課程科目、合計に区分して、修得済の単位数が記載されています。また、GPAの数値も併記されています。

■成績基準について

原則として、本学では単位修得者に占める割合を科目ごとに以下の基準で評価します。

- ① 「S と A」 を合わせて 30%以内で評価する。
- ② 「S と A」「C」の割合が「B」を超えない割合で評価する。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

■GPA (Grade Point Average)

本学では、卒業要件の単位数を単に修得するだけでなく、より良い成績で修了するよう促すためにGPAを利用しています。GPAは、各科目の評価点の重みを加味して5段階のグレードポイント(4~0)に換算し、各科目の単位数を乗じて算出した平均点です。GPAの算出方法は、次のとおりです。

- ① 成績通知書に記載されている評価(S、A、B、C、D等)のそれぞれにS=4、A=3、B=2、C=1、D/F=0(なおPは算出に含めない)の値を付与して次の式によりGPAを算出します。
$$GPA = [(S \text{ の単位数}) \times 4 + (A \text{ の単位数}) \times 3 + (B \text{ の単位数}) \times 2 + (C \text{ の単位数}) \times 1] \div (S \text{ から D/F の評価がつけられた総履修単位数})$$
- ② GPAは、不合格や試験を放棄した科目も算出に含めますので、途中で受講をやめたり、試験を受けない場合、GPAの数値が低下します。
- ③ 各学期のGPA値は、成績公開日に算出し、公開します。

■成績の分布を表す資料

添付資料「学部GPA」を参照

客観的な指標の
算出方法の公表方法

学生便覧(電子版で公表)

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

■ディプロマポリシー「卒業認定・学位授与の方針」

1) 文学部 (2019年度入学生より)

強くしなやかな精神と、新しい世界を切り拓く能力を、他者のために用いることのできる人間を育成するため、所定の期間在学し、教養、コミュニケーション能力、デザイン力、国際性、並びに所属学部において定める専門性と学識を身につけ、所定の単位を修得し学部規程に定める試験に合格した学生に学位を授与します。

教養：体験や学びを通して幅広い知識を有している。広い視野に立ちバランスの取れた思考や判断ができる。その経験を基にして、多様な価値観を認めることができる。

コミュニケーション能力 外国語を含めて他者と意志疎通ができる。他者を大切に思うことができる。その経験を基にして、社会に対して主体的に行動できる。

デザイン力 問題を発見することができる。自由に発想することができる。解決の道筋をつくることができる。その経験を基にして、他者のために働くことができる。

国際性 自分の文化を理解できる。異なる文化を理解できる。文化を超えて交流できる。その経験を基にして、社会に貢献できる。

専門性と学識 専門分野における知識を有している。本質を見極め柔軟に思考できる。問題解決のために客観的に俯瞰志向ができる。その経験を基にして、自分を生かすことができる。

2) 文学部 (2018年度以前の入学生)

- 日本文学の学びを通して豊かな感性と想像力を磨き、人間や社会に対する理解力と表現力を身につける。
- フィールドワークを通して地域や文化を深く学び、地域の魅力を発見・発信できる力を身につける。
- 英語運用能力を高め、異文化に対する柔軟な態度と世界につながる力を身につける。
- 英語（日本語）によるビジネスコミュニケーション能力を高め、社会で活躍できるホスピタリティマインドを身につける。
- 中国語あるいは韓国語の運用能力を高め、異文化に対する柔軟な態度とアジアにつながる力を身につける。

3) 子ども学部 (2020年度入学生)

- ① **教養** 体験や学びを通して幅広い知識を有している。広い視野に立ち、バランスの取れた思考や判断ができる。その経験を基にして、多様な価値観を認めることができる。
- ② **コミュニケーション能力** 外国語を含めて他者と意思疎通ができる。他者を大切に思うことができる。その経験を基にして、社会に対して主体的に行動できる。
- ③ **デザイン力** 問題を発見することができる。自由に発想することができる。解決の道筋をつくることができる。その経験を基にして、他者のために働くことができる。
- ④ **国際性** 自分の文化を理解できる。異なる文化を理解できる。文化を超えて交流できる。その経験を基にして、社会に貢献できる。
- ⑤ **専門性と学識** 専門分野における知識を有している。本質を見極め柔軟に思考できる。問題解決のために客観的に俯瞰思考ができる。その経験を基にして、自分を活かすことができる。

4) 子ども学部 (2019年度以前の入学生)

- ① 子どもの成長を信じ、子どもの未来のために奉仕する心を身につけている。
- ② 子どもや子どもを取りまく環境・社会と、子どもに与えるべき教育内容や方法について、広く深い知識を習得している。
- ③ 音楽、美術、文学などに親しみ、そこで培った感性や表現力を基に、豊かな人間関係を築くことができる。
- ④ 職業人としての使命感・責任感を持って、子どもと子どもを取りまく環境・社会に働きかける力を身につけている。
- ⑤ さまざまな領域から子どもについて理解を深め、子どもという窓から社会の課題を探究する態度と能力を身につけている。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<http://www.baiko.ac.jp/university/information>
(ディプロマポリシー参照)

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	梅光学院大学
設置者名	学校法人梅光学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.baiko.ac.jp/university/outline/financial
収支計算書又は損益計算書	http://www.baiko.ac.jp/university/outline/financial
財産目録	http://www.baiko.ac.jp/university/outline/financial
事業報告書	http://www.baiko.ac.jp/university/outline/financial
監事による監査報告(書)	http://www.baiko.ac.jp/university/outline/financial

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: http://www.baiko.ac.jp/university/information

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: http://www.baiko.ac.jp/university/outline/baikojihee

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 文学部、子ども学部
教育研究上の目的（公表方法： http://www.baiko.ac.jp/university/information ） （概要）
<p>教育研究上の目的 キリスト教の信仰に基づく人格教育を基盤とし、教育基本法、学校教育法及び私立学校法に従い、学校教育を行い、社会に有為な人材を養成することを目的とする。 （学校法人梅光学院寄附行為第 3 条）</p> <p>【学則】高い教養と専門的知識、技能を教授研究し、キリスト教の信仰に基づく人格教育を基盤とし、愛と奉仕に生きるよき社会人を育成することを目的とする。 （梅光学院大学学則第 1 条）</p> <p>1) 文学部 キリスト教精神と深い人間理解に支えられ、他者に寄り添い、ユニバーサルな視野をもって地域社会につながることのできる人（ひと）を育てる。 （梅光学院大学文学部履修規程第 4 条）</p> <p>2) 子ども学部 家庭、学校、地域社会における保育・教育の重要性について学び、次世代を担う子どもの健全な育成にかかわる幅広い保育・教育研究を行い、専門的知識及び技能を修得した現場力のある人材を養成する。 （梅光学院大学子ども学部履修規程第 4 条）</p>
卒業の認定に関する方針（公表方法： http://www.baiko.ac.jp/university/information ） （概要）
<p>■ディプロマポリシー「卒業認定・学位授与の方針」</p> <p>1) 文学部（2019 年度入学生より） 強くしなやかな精神と、新しい世界を切り拓く能力を、他者のために用いることのできる人間を育成するため、所定の期間在学し、教養、コミュニケーション能力、デザイン力、国際性、並びに所属学部において定める専門性と学識を身につけ、所定の単位を修得し学部規程に定める試験に合格した学生に学位を授与します。 教養：体験や学びを通して幅広い知識を有している。広い視野に立ちバランスの取れた思考や判断ができる。その経験を基にして、多様な価値観を認めることができる。 コミュニケーション能力 外国語を含めて他者と意志疎通ができる。他者を大切に思うことができる。その経験を基にして、社会に対して主体的に行動できる。 デザイン力 問題を発見することができる。自由に発想することができる。解決の道筋をつくることができる。その経験を基にして、他者のために働くことができる。 国際性 自分の文化を理解できる。異なる文化を理解できる。文化を超えて交流できる。その経験を基にして、社会に貢献できる。 専門性と学識 専門分野における知識を有している。本質を見極め柔軟に思考できる。問題解決のために客観的に俯瞰志向ができる。その経験を基にして、自分を生</p>

かすことができる。

2) 文学部 (2018 年度以前の入学生)

- ① 日本文学の学びを通して豊かな感性と想像力を磨き、人間や社会に対する理解力と表現力を身につける。
- ② フィールドワークを通して地域や文化を深く学び、地域の魅力を発見・発信できる力を身につける。
- ③ 英語運用能力を高め、異文化に対する柔軟な態度と世界につながる力を身につける。
- ④ 英語 (日本語) によるビジネスコミュニケーション能力を高め、社会で活躍できるホスピタリティマインドを身につける。
- ⑤ 中国語あるいは韓国語の運用能力を高め、異文化に対する柔軟な態度とアジアにつながる力を身につける。

3) 子ども学部 (2020 年度入学生)

- ① **教養** 体験や学びを通して幅広い知識を有している。広い視野に立ち、バランスの取れた思考や判断ができる。その経験を基にして、多様な価値観を認めることができる。
- ② **コミュニケーション能力** 外国語を含めて他者と意思疎通ができる。他者を大切に思うことができる。その経験を基にして、社会に対して主体的に行動できる。
- ③ **デザイン力** 問題を発見することができる。自由に発想することができる。解決の道筋をつくることができる。その経験を基にして、他者のために働くことができる。
- ④ **国際性** 自分の文化を理解できる。異なる文化を理解できる。文化を超えて交流できる。その経験を基にして、社会に貢献できる。
- ⑤ **専門性と学識** 専門分野における知識を有している。本質を見極め柔軟に思考できる。問題解決のために客観的に俯瞰思考ができる。その経験を基にして、自分を活かすことができる

4) 子ども学部 (2019 年度以前の入学生)

- ① 子どもの成長を信じ、子どもの未来のために奉仕する心を身につけている。
- ② 子どもや子どもを取りまく環境・社会と、子どもに与えるべき教育内容や方法について、広く深い知識を習得している。
- ③ 音楽、美術、文学などに親しみ、そこで培った感性や表現力を基に、豊かな人間関係を築くことができる。
- ④ 職業人としての使命感・責任感を持って、子どもと子どもを取りまく環境・社会に働きかける力を身につけている。
- ⑤ さまざまな領域から子どもについて理解を深め、子どもという窓から社会の課題を探究する態度と能力を身につけている。

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法 : <http://www.baiko.ac.jp/university/information>)

(概要)

1) 文学部

- ① 「教養教育」と「専門教育」から構成し、「教養教育」には、聖書の学びを土台にした「梅光コモンズ」科目群を開講する。自己を見つめ、仲間とのつながりを確認するプログラムを通して、主体的な学びの方法を修得し、自己の将来

を思い描くことに目標を定めた教育内容とする。

- ② 「専門教育」には「共通専門」科目群と5専攻の「専攻専門」科目群を開講する。多様な専門科目を配置した「共通専門」科目群では、専門分野での学びをさらに幅広い視野で学べることを特徴とする。また、カリキュラムは、総合的にキャリア（就職）につながることを意識し、知識伝達型授業、実践的トレーニング重視の授業、実体験重視の授業などをバランスよく配置する。

2) 子ども学部

- ① **1年次** 子どもについて知り、教育・保育・福祉の目的や体系的な知識を理解し、具体的な課題を発見する。
- ② **2年次** 子どもについて理解を深め、教育・保育・福祉に関する専門職としての基礎的知識や技能を修得し、現場を意識した学びができる。
- ③ **3年次** 実践的体験を通して、子どもの教育・保育・福祉に関する様々な内容や指導方法を理解し、技術の基礎を修得するとともに、研究的視点を持つ。
- ④ **4年次** 子どもや教育・保育・福祉に関する理念を統合的に活用し、解決すべき課題を探究し、幅広い実践力を修得する。各自の専攻に従って卒業研究・卒業制作を仕上げる。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：<http://www.baiko.ac.jp/university/information>)

(概要)

1) 文学部

- ① キリスト教に出会い、「生きる力」を養いたい人。
- ② 日本の文学・文化を学んで、卒業後の仕事に生かしたい人。
- ③ 日本語・日本文学の学びを生かして、創作活動をしたい人。
- ④ 地域の文化や歴史を学んで、地域で活躍したい人。
- ⑤ 英語や世界の文化を学んで、卒業後の仕事に生かしたい人。
- ⑥ 英語力を生かして、ビジネスの世界や国際交流の場で活躍したい人。
- ⑦ 中国語・韓国語と東アジアの文化を学び、地域間の交流やビジネスの世界で活躍したい人。

本学入学までに身につけておくべき教科等の学力

文学や言語・文化の学びを通して、他者に寄り添い、他者のために力を尽くすことのできる力、徹底的なトレーニングによる実践的な外国語コミュニケーション能力、ユニバーサルな視野をもって地域課題に主体的に取り組み、汎用的な「社会人基礎力」を身につけることを目標にカリキュラムが組まれています。そのためには高等学校で習得する各教科、各科目に関して、基礎的な学力、論理的な思考力、適切な表現力、及びコミュニケーション能力が必要です。

「国語」「外国語（英語）」「地理歴史・公民」に関して、高等学校教育課程修了にふさわしい学力を備えていることが必要です。それ以外にも全分野にわたって基礎的・常識的な知識と関心を持っていることが望まれます。

2) 子ども学部

- ① 幼児・児童の教育に関心を持ち、将来小学校の教員になりたい人。
- ② 乳幼児の保育・教育に関心を持ち、将来幼稚園教員や保育士になりたい人。
- ③ 子どもの福祉や文化に関心を持ち、福祉や教育に関する公務員になりたい人。
- ④ 教員免許、保育士の資格を活かしたさまざまな仕事に就きたい人。

本学入学までに身につけておくべき教科等の学力

本学部では乳幼児、児童の保育や教育に関するを中心に学んでいきます。人間を多角的に探究することへの興味・関心を持つとともに、論理的な思考力と適切な表現力、コミュニケーション能力が求められます。また、現代社会のあらゆる分野に関する興味や関心を持つことが望まれます。

○ 児童教育専攻

本学部に入學するまでに、「国語」、「地理歴史・公民」、「数学」、「理科」、「外国語(英語)」に関して、高等学校教育課程修了にふさわしい学力を備え、また芸術（「音楽」、「美術」）、「保健体育」については、基礎的な知識と技能、興味関心と探求心を備えていることが望まれます。

○ 幼児保育専攻

本学部に入學するまでに、「国語」や「外国語(英語)」の基礎的能力を基にした言語能力、コミュニケーション能力を備えていることのみならず、総合的な学習の時間や特別活動などで豊かな生活体験をしておくこと、特に「音楽」については、基礎的な知識と技能を備えていることが望まれます。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<http://www.baiko.ac.jp/university/information>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
文学部	—	16人	3人	11人	0人	0人	30人
子ども学部	—	6人	5人	3人	0人	0人	14人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
1人			42人				43人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： http://www.baiko.ac.jp/university/information					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
文学部	210人	267人	127%	824人	952人	115%	12人	5人
子ども学部	100人	112人	112%	410人	380人	92%	5人	0人
合計	310人	379人	122%	1234人	1332人	107%	17人	5人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
文学部	198人 (100%)	0人 (0%)	161人 (81.3%)	37人 (18.7%)
子ども学部	96人 (100%)	0人 (0%)	91人 (94.8%)	5人 (5.2%)
合計	294人 (100%)	0人 (0%)	252人 (85.7%)	42人 (14.3%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 北九州市(公立小学校)、福岡県(公立小学校)、山口県(公立小学校)、ANA福岡空港 など				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)		
<p>■学期について 本学の授業は1年を前期、後期の二学期に分けて行ない、いずれの学期とも授業週数は15週（定期試験を除く）です。</p>		
<p>■単位制と学習時間について</p>		
<p>① 本学の教育課程は、単位制です。卒業するためには4年間在学し卒業に必要な単位数（124単位）を修得することが求められます。極めて厳格な制度で、たとえ1単位であっても不足すると卒業はできません。</p>		
<p>② 単位は、すべての大学において、授業時間（a）と授業時間以外に行う自己学修等の時間（b）を合計して45時間（=a+b）をもって1単位と規定されています。</p>		
<p>③ 本学の授業科目は、「講義」、「演習」、「実験、実習、実技」の3つに区分されています。それぞれの授業時間は以下の表のとおりです。</p>		
(1単位の場合)		
授業科目の区分	授業時間（a）	自己学修等の時間（b）
「講義」	15時間	30時間
「演習」	15時間から30時間	30時間から15時間
「実験、実習、実技」	30時間から45時間	15時間から0時間
<p>④ 授業科目を履修し、担当教員が必要と認める学習を行い、定期試験またはレポート等の成績評価によって合格と担当教員が判定した場合、所定の単位数が与えられます。</p>		
<p>■シラバス シラバスとは、その年度に開講予定の授業科目について、授業計画や内容を具体的に示したものです。下記の内容がUNIPAで閲覧できます。履修登録時に利活用してください。</p>		
<p>〈シラバスの内容〉</p>		
<p>① 実務家教員 本学で教授する以前に小・中学校教員や企業で働いていた等の経歴を持つ教員について記載しています。</p>		
<p>② 授業の概要 授業の趣旨、目的、形態、内容等の概要を記載しています。</p>		
<p>③ 到達目標 ディプロマポリシーに基づく到達目標を記載しています。到達目標は3に整理され、測定可能な到達目標が示されていますので、「学生に何を身につ</p>		

けてほしいか」がわかります。

- ④ **成績評価の方法** 評価基準が明示されています。なお、出席による加点（出席点）は行っていません。
- ⑤ **テキスト・参考図書** 授業で使うテキストと参考図書を記載しています。
- ⑥ **予復習** 各回の授業前後の時間外学習について記載しています。
- ⑦ **備考欄(教授方法)** グループワークを行う、小テストを毎時行う等の授業に関する情報を記載しています。
- ⑧ **授業計画・テーマ・学習内容** 15回（試験は含まない）の授業内容について、授業回数毎の授業テーマとその内容を記載しています。授業全体の内容がわかります。
- ⑨ **アクティブラーニング** 教員による一方向的な講義形式の教育ではなく、学生の能動的な学修への参加を取り入れた教授法・学習法の総称です。「PBL（少人数のグループで主体的に問題解決を目指す学習形態）」「ディスカッション」「グループワーク」「プレゼンテーション」「実習」という教授法・学習法について、「◎：毎回実施」「○：半分以上の授業回で実施」「△：数回実施」「×：実施しない」を記載しています。アクティブラーニングを実施しない場合は、「実施しない」に○を記載しています。
- ⑩ **ICT（情報通信技術）の活用** 活用するアプリ等について記載しています。それによって教員と学生の双方向的な授業が可能になる場合は、双方向に○を記載しています。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること
(概要)

■学期について

本学の授業は1年を前期、後期の二学期に分けて行ない、いずれの学期とも授業週数は15週（定期試験を除く）です。

■単位制と学習時間について

- ① 本学の教育課程は、単位制です。卒業するためには4年間在学し卒業に必要な単位数（124単位）を修得することが求められます。極めて厳格な制度で、たとえ1単位であっても不足すると卒業はできません。
- ② 単位は、すべての大学において、授業時間（a）と授業時間以外に行う自己学修等の時間（b）を合計して45時間（=a+b）をもって1単位と規定されています。
- ③ 本学の授業科目は、「講義」、「演習」、「実験、実習、実技」の3つに区分されています。それぞれの授業時間は以下の表のとおりです。

④ (1単位の場合)

授業科目の区分	授業時間 (a)	自己学修等の時間 (b)
「講義」	15 時間	30 時間
「演習」	15 時間から 30 時間	30 時間から 15 時間
「実験、実習、実技」	30 時間から 45 時間	15 時間から 0 時間

- ⑤ 授業科目を履修し、担当教員が必要と認める学習を行い、定期試験またはレポート等の成績評価によって合格と担当教員が判定した場合、所定の単位数が与えられます。

■定期試験

- ① 定期試験は、前期と後期に分け、それぞれ学期末に試験を実施します。2020年度

の定期試験の日程は、以下のとおりです。試験を実施する授業科目および時間割は、試験期間開始の2週間前にUNIPAのお知らせに掲載します。

前期試験 2020年8月3日(月)～8月5日(金)

後期試験 2021年1月25日(月)～1月29日(金)

- ② 登録した授業科目は、試験等により合格(60点以上)の成績評価を得ることによって所定の単位を取得することができます(試験を実施しない科目もあります)。
- ③ 出席時数が授業全体の3分の2に満たない科目は、単位を認定することができません。

■成績通知について

- ① 《前期科目》は9月、《後期科目》は3月にUNIPAの成績照会より成績公開を行います。公開日は学年暦で確認してください。各学期のGPA値は、成績公開日に算出し、公開します。
- ② 成績評価に関する問い合わせは、UNIPAのQ&Aより各学期の成績公開後の所定期間に受け付けます。個々の判断で授業担当教員に直接問い合わせることはせずに成績に関する問い合わせはこの制度を利用してください。
- ③ 《保護者への通知》は5月上旬に「成績通知書」を保証人宛に送付します。「成績通知書」は、履修済の科目の名称、必修・選択の区別、評価点、評価、修得した年度と学期、担当教員名の一覧となっています。
- ④ 評価は、評価点をもとにS:100-90、A:89-80、B:79-70、C:69-60、D:59-0、P:合格認定(pass)、F:評価不能(fail)の区分で記載されています。
- ⑤ 成績通知表は、修得した単位の総計表です。教養科目、共通専門科目、専攻専門科目、課程科目、合計に区分して、修得済の単位数が記載されています。また、GPAの数値も併記されています。

■成績基準について

原則として、本学では単位修得者に占める割合を科目ごとに以下の基準で評価します。

- ① 「SとA」を合わせて30%以内で評価する。
- ② 「SとA」「C」の割合が「B」を超えない割合で評価する。

■ディプロマポリシー「卒業認定・学位授与の方針」

1) 文学部(2019年度入学生より)

強くしなやかな精神と、新しい世界を切り拓く能力を、他者のために用いることのできる人間を育成するため、所定の期間在学し、教養、コミュニケーション能力、デザイン力、国際性、並びに所属学部において定める専門性と学識を身につけ、所定の単位を修得し学部規程に定める試験に合格した学生に学位を授与します。

教養：体験や学びを通して幅広い知識を有している。広い視野に立ちバランスの取れた思考や判断ができる。その経験を基にして、多様な価値観を認めることができる。

コミュニケーション能力 外国語を含めて他者と意志疎通ができる。他者を大切に思うことができる。その経験を基にして、社会に対して主体的に行動できる。

デザイン力 問題を発見することができる。自由に発想することができる。解決の道筋をつくることができる。その経験を基にして、他者のために働くことができる。

国際性 自分の文化を理解できる。異なる文化を理解できる。文化を超えて交流できる。その経験を基にして、社会に貢献できる。

専門性と学識 専門分野における知識を有している。本質を見極め柔軟に思考できる。問題解決のために客観的に俯瞰志向ができる。その経験を基にして、自分を生かすことができる。

2) 文学部 (2018年度以前の入学生)

- 日本文学の学びを通して豊かな感性と想像力を磨き、人間や社会に対する理解力と表現力を身につける。
- フィールドワークを通して地域や文化を深く学び、地域の魅力を発見・発信できる力を身につける。
- 英語運用能力を高め、異文化に対する柔軟な態度と世界につながることをできる力を身につける。
- 英語 (日本語) によるビジネスコミュニケーション能力を高め、社会で活躍できるホスピタリティマインドを身につける。
- 中国語あるいは韓国語の運用能力を高め、異文化に対する柔軟な態度とアジアにつながることをできる力を身につける。

3) 子ども学部 (2020年度入学生)

- ① **教養** 体験や学びを通して幅広い知識を有している。広い視野に立ち、バランスの取れた思考や判断ができる。その経験を基にして、多様な価値観を認めることができる。
- ② **コミュニケーション能力** 外国語を含めて他者と意思疎通ができる。他者を大切に思うことができる。その経験を基にして、社会に対して主体的に行動できる。
- ③ **デザイン力** 問題を発見することができる。自由に発想することができる。解決の道筋をつくることができる。その経験を基にして、他者のために働くことができる。
- ④ **国際性** 自分の文化を理解できる。異なる文化を理解できる。文化を超えて交流できる。その経験を基にして、社会に貢献できる。
- ⑤ **専門性と学識** 専門分野における知識を有している。本質を見極め柔軟に思考できる。問題解決のために客観的に俯瞰思考ができる。その経験を基にして、自分を活かすことができる

4) 子ども学部 (2019年度以前の入学生)

- ① 子どもの成長を信じ、子どもの未来のために奉仕する心を身につけている。
- ② 子どもや子どもを取りまく環境・社会と、子どもに与えるべき教育内容や方法について、広く深い知識を習得している。
- ③ 音楽、美術、文学などに親しみ、そこで培った感性や表現力を基に、豊かな人間関係を築くことができる。
- ④ 職業人としての使命感・責任感を持って、子どもと子どもを取りまく環境・社会に働きかける力を身につけている。
- ⑤ さまざまな領域から子どもについて理解を深め、子どもという窓から社会の課題を探究する態度と能力を身につけている。

学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
文学部	人文学科	124 単位	有・無	半期 26 単位
子ども学部	子ども未来学科	124 単位	有・無	半期 28 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法 :		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 :		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<http://www.baiko.ac.jp/university/information>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
文学部	人文学科	620,000 円	30,000 円	340,000 円	
子ども学部	子ども未来 学科	620,000 円	30,000 円	340,000 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 特別講座 (ゼロ単位) を開講している。 【文学部】 数学が苦手な学生対象 【子ども学部】 器楽 (ピアノ) が苦手な学生を対象
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 入学直後から、就職を見据えた以下の項目を実施。 【1, 2 年次】 進路デー: 希望の進路を実現するために何をすべきか考える。 今年度は梅光 BASIS。 【3 年次】 キャリアデザイン (授業): 自己分析、グループディスカッション、 面接対策、業界研究等、就活に必要な事柄を学ぶ
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 保健室 (看護師)、学生心の相談室 (スクールカウンセラー)、学生部 (臨床心理士) が連携して支援を行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法 : http://www.baiko.ac.jp/university/information
--

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。